



記念式典  
12/14  
10:00

150anniversary

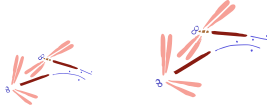
王子小 HP→  
東京都北区立王子小学校 学校便り 令和6年9月2日



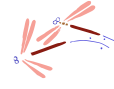
# かがやけ！王子っ子

㊦んがえる子 ㊦んばる子 ㊦さしい子 ㊦んこうな子

◆来校の際には、必ず、ネームズレートを着用し、受付をお通りください◆



## 感謝のきもち



校長 原田 英孝

9月を迎え、約40日分のエネルギーを蓄えた“元気な子ども達の姿”が学校に戻ってまいりました。保護者の皆様、地域の皆様方には、児童が安全に有意義な夏を過ごすことが出来るよう、たくさんのご配慮をいただき心から感謝申し上げます。

さて、今年の夏はフランスのパリでスポーツの祭典「オリンピック」が開催され、現在は「パラリンピック」の熱戦が繰り広げられているところです。各国から選ばれたアスリートたちが競技人生の全てを懸けて競い合う姿は、勝ち負けを超えて私たちに感動を与えてくれました。

とくに、選手達の試合後のインタビューやコメントはどれも胸に迫るものでしたが、ほとんど例外なく発せられていたのが「感謝の言葉」でした。死力を尽くして行われた勝負の直後は、勝っても負けても気持ちが高ぶり、感情のコントロールが難しい状況ではないかと思われそうですが、どの選手からもほぼ例外なく“家族やコーチ、チームメイトや応援してくれた方たちへの感謝の言葉”が真っ先に出てきたことは、人としてとても素晴らしいことだと、強く感銘を受けました。アスリートにとって勝つこと、一番になることは最大の目標であり、そのために血のにじむような努力を重ねてきたことと思いますが、同時に、競技に取り組む過程において素晴らしい人間性が培われていることはスポーツに取り組むことの大きな意義、人間形成における尊い成果と言えるのではないのでしょうか。

話は変わりますが、8月初旬に2泊3日の日程で「日光高原学園」に出掛けてまいりました。6年生にとっては小学校生活3度目にして最後の宿泊行事です。子ども達は6年間の集大成の一つとして、仲間とともに事前準備を重ね、本番では3日間の行程のほとんどを自分たちの力で運営し、学園生活をよりよいものにしようとリーダーを中心によく話し合いながら生活してきました。

居心地のよい家庭を離れ、生活習慣や考え方の異なる他人と終日顔を合わせて生活する状況は、それだけでも子ども達にとって大きなストレスとなります。しかし、小さなトラブルも皆で話し合い、一つ一つ折り合いを付けながら、前向きに生活している姿はとても立派なものでした。また、見えないところも含めて宿泊行事を支えてくださった宿舎のスタッフや添乗員、バスの乗務員や見学施設の方々、見送りや出迎えに来てくださった保護者や教員に対して、6年生から感謝の言葉が自然と出てくる様子に、人としての成長を大きく感じる嬉しい3日間でした。

これからは幾分過ごしやすい季候となり、学校行事が充実する季節でもあります。まずは、11日から4年生が千葉県岩井へ初めての宿泊学習に出掛けてまいります。そのほか、年内は「王小スポーツフェスタ」や「音楽会」、12月には「創立150周年記念式典」などの行事が目白押しです。教職員一同、これからも日々の授業の充実を図るとともに、学校行事をはじめとする様々な教育活動が担っている教育内容や目的をしっかりと達成し、子ども達の生きる力と豊かな人間性の形成をすすめていきたいと思えます。

### 6年生

小学校生活最後の宿泊行事として、8月8日（木）から10日（土）の2泊3日、日光高原学園に行ってきました。奥日光は涼しく過ごしやす日々でした。鹿や猿に出会いながら自然の中を歩いたり、ナイトハイクできれいな星空をみんなで見上げたりなど、自然を肌で感じてきました。互いに言葉を掛け合い、助け合いながら学園生活を送る姿は、さすが最高学年だと感心しました。

### 150周年記念王小まつり

7月6日の土曜授業日に「王小まつり」がありました。2年生から6年生は、各クラスで話し合い、当日お店を盛り上げるために準備を進めました。集会委員会が中心となり、お店紹介や当日の進行などでは子供たちが主体的に活動することができました。1年生は様々なお店を体験することになりました。上級生から優しく説明を受け、来年は自分たちも…などと話す声も聞こえました。

